

それぞれの楽しむリビング

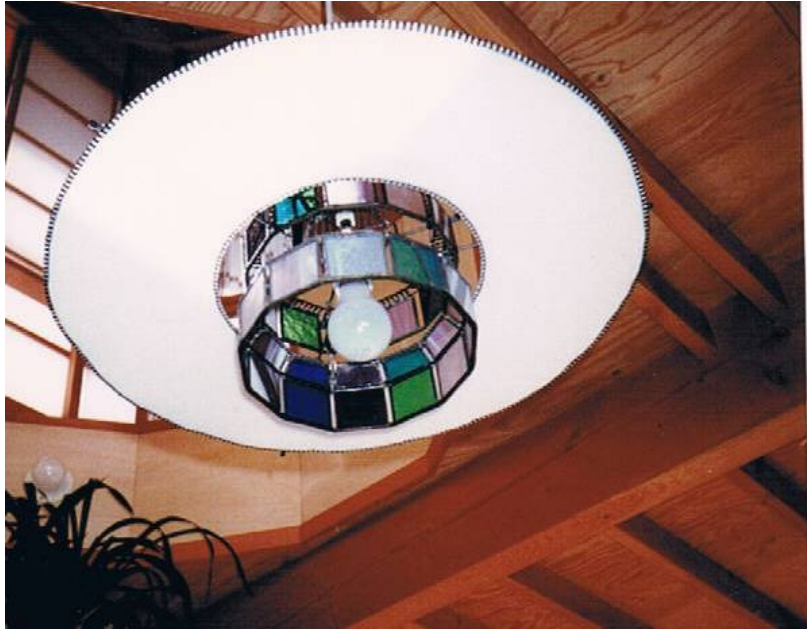
住まいの場所づくりの一つ、リビングをどんなスタイルにするか。その前にどの程度の住まいのボリュームが可能かを見定める必要がありますし、予算から考えることもあります。施主や家族のライフスタイルから多様なイメージが展開できます。モダンが大好き、クラシックがいい、周りの環境が美しい、書籍が多数ある、グリーンを室内で、楽器を、絵画を、などなどをもとにリビングのイメージをふくらませていきます。



リビングで見上げると多角形の吹き抜けがあり、その窓から太陽や青空が、夜には月を眺めます。



旧宅を解体した際、保存した障子やガラス戸を和風仕立てのリビングに再利用しました。



知人のガラス作家に食卓用のペンダントを依頼、電球の周りにステンドグラスを取り付け点灯すると白いシェードや周囲の白い壁にいろいろな光が映し出されます。



打ち放しコンクリートのリビングに暖炉の火の温くもりが心地よく、リラックスします。※



施主が赤いもみじが好きと、リビングの床にモミジをあしらった特注の絨毯が映えます。※



10帖ほどのリビングに特注のストーブを設置、このリビングには、温水床暖房が仕込まれています。*



リビングの壁全体を本棚に、子供たちの本も一緒に収納しています。



リビングに本格的映写幕を取り付け映像を楽しみます。*



※
大きなグランドピアノをリビングの中央にデンと据え付けました。



右側の柱はヒノキ材の大黒柱で、八角形に大工さんと家族の皆で削りだしました。
年々色艶が変化し愛着がわきます。



敷地は、桜並木が目の前に続くロケーション。この風景を室内からパノラマ状に見えるように横長の窓にしました。